

職員のスキルを活かして介護保険外のサービスへ事業展開

アサヒ産業株式会社
(東京都荒川区)

大規模化の取組内容

- ・ 地域密着型の機能訓練を行うデイサービスを展開しており、職員の技能を活かした介護保険外サービスとして、マッサージサービスや理学療法士による相談受付を開始。事業展開に伴い事業所もより広い建物に移転し、従前より実施していた介護サービスと併設して、主に中高齢者を対象としたサービスを提供している。

大規模化のきっかけと経緯

- ・ 業績の改善と生産性の向上に向けて、従来の事業形態にとらわれない、新しい事業にチャレンジしなくてはならないと思い、決断した。
- ・ 元々提供していた半日の運動型デイサービスの利用者には、比較的元気な高齢者が多かった一方で、中重度者のサービスのニーズもあったため、そのニーズに対応できるサービスとして、中重度の方に向けた介護保険外サービス提供を目指した。

大規模化の効果

- ✓ 既存の事業と合わせてスケールメリットを活かせるようになり、**地域へのPR力が上がった**。地域ニーズに合わせた栄養、口腔のケア、リハビリを全面的に押し出すことが、奏功したと考える。
- ✓ 利用者の増減も多いが、**規模を大きくすることで人員配置基準等への影響が少なくできる**ため、大規模化は効果的であった。
- ✓ 新規オープン時は職員の負担感があったと思うが、働き方を工夫するなどし、離職者を出さずに済んだ。3事業所でオンライン会議を実施することで効率的な運営が行われている。

取組を進める上でのポイント

- 事業展開に際し人材確保がネックになると想定されたが、自社で職員の運動系クラブを持っており、業務とクラブ活動の両立ができることを、職場の魅力として発信。職員採用に効果が出ており、順調な人材確保につながった。

